

第 7 6 回
沖縄地方交通審議会
船員部会 議事録

平成 27 年 2 月 27 日(金)

沖 縄 総 合 事 務 局

第76回沖縄地方交通審議会船員部会

日 時 平成27年2月27日（金）14時00分
場 所 沖縄総合事務局 1F 「共用会議室」

出席者 :

公益委員 宮里委員、儀部委員、春田委員、上江洲委員
労働者委員 姫路委員、大崎委員、辻委員
使用者委員 宮城委員、大城委員、伊禮委員

沖縄総合事務局 宇崎船舶船員課長、玉城海事振興調整官
竹之内課長補佐、池原（労政担当）

議事次第

○開 会

○議 事

1. 第75回船員部会の議事録承認について
2. 管内の雇用状況等について
3. 最低賃金の改正に関する決定公示について
4. 「海事教室」実施報告
5. 意見交換

○閉 会

（配付資料）

1. 第75回船員部会の議事録（案）
2. 船員職業紹介実績等一覧表（平成27年1月分）
3. 船員の特定最低賃金の改正決定に関する官報公示
4. 最低賃金新旧対照表（沖縄内航鋼船運航業及び木船運航業）
5. 最低賃金新旧対照表（沖縄海上旅客運送業）
6. 平成26年度「海事教室」報告

宮里部会長

定刻でございますので、会議を始めさせていただきます。
本日の出席状況と配付資料の確認を事務局よりお願いします。

事務局（池原）

本日は、公益委員4名、労働者委員3名、使用者委員3名が出席されており、船員部会運営規則第9条の規定による定足数を満たしており、有効に成立していることをご報告いたします。

（配付資料の確認）

宮里部会長

はじめに、第75回船員部会の議事録の承認についてお諮りします。お手元に配付されております議事録を御確認ください。

議事録のとおりでよろしいでしょうか。

各委員

（「異議無し」）

宮里部会長

異議無しということで、第75回船員部会議事録承認について、承認されたものといたします。

続きまして、議題2の「管内の雇用状況について」事務局に説明をお願いします。質問は最後に受け付けたいと思います。

事務局（竹之内補佐）

平成27年1月分の管内雇用等状況等の概要を説明させていただきます。

●求人状況について

新規求人数は9件でした。

前月は4件で5件増加。前年同月は3件で6件増加となっております。月間有効求人数は14件でした。前月は11件で3件増加。前年同月は11件で3件増加となっております。

月間有効求人数14件の内訳としましては、商船等13件、漁船1件となっております。月末未済求人数は13件でした。

●求職状況について

新規求職数は17人でした。前月は5人でしたので、12人増加。

前年同月は、9人で、8人増加となっております。新規求職数の内訳としましては、商船等15人、漁船2人となっております。

月間有効求職数は27人でした。前月は21人でしたので6人増加。

前年同月は16人でしたので11人増加となっております。月間有効求職数27人の内訳としましては、商船等23人、漁船4人となっております。月末未済求職数は18人でした。

● 成立状況について

1月は、管外に2件の採用が決まりました。

成立状況としましては、沿海の貨物船に機関士として50代男性1人、近海の貨物船に甲板手として40代男性1人が採用されました。

● 求人倍率について

1月の月間有効求人倍率は0.52倍でした。前月も0.52倍でしたので増減無し。

前年同月は0.69倍でしたので0.17ポイント減少となっております。

● 新規求職者の退職理由又は求職理由別内訳について

1月の新規求職者17人のうち、離職者12人の退職理由としては、船舶所有者都合が5人、自己都合が7人となっております。離職以外の方の5人の求職理由としては、就業中で転職希望が5人となっております。

新規求職者が所属していた会社所在地については、管内が9人、管外が8人となっております。

● 失業等給付支給内訳について

受給者実人員は2名。支給延べ件数は2件で、基本手当支給は287,210円。その他の支給はありませんでしたので、総支給額は287,210円でした。

宮里部会長

ただいまの説明につきまして、質問等はございませんか。

辻委員（労）

今回、新規求職者5人も増え、その中の理由に陸上からの転職希望の方が2人いらっしゃいますが、どういった職種を希望されていたんでしょうか。また、海技免状はお持ちでしたか。

事務局（竹之内補佐）

こちらの方の詳しい資料は用意していませんが、マリンサービス関係かと推測されます。

辻委員（労）

司厨部を希望されているんですか。

事務局（竹之内補佐）

甲板員及び機関員を希望されています。

宮里部会長

求人数が商船で8人、求職数が12人となっていますが、双方の条件等が合わないとマッチングは難しいんですかね。

事務局（竹之内補佐）

条件が合って紹介をかけたとしても成立しないこともあります。

宮里部会長

他に無いようでしたら続いて、「最低賃金の改正に関する決定公示」及び「海事教室の実施」について、事務局から報告をお願いします。

事務局（池原）

3月25日付けで官報に掲載されました船員の特定最低賃金に関する決定の官報公示を資料として添付しております。こちらは広く国民に周知するという意味で、30日間、公示されます。今回は、金額と一部文言の改正となりますので、こちらの官報には、その改正箇所のみの記載となっております。下段の附則にございますとおり、平成27年3月27日から効力が発生することとなります。

次のページに、内航鋼船運航業及び木船運航業並びに海上旅客運送業の最低賃金の新旧対照表を添付しておりますので、後ほど御確認ください。

（海事教室の実施報告）

宮里部会長

ただいまの報告について、質問等がございますでしょうか。

海事教室の開催は年に1回ですか。

事務局（池原）

年1回の開催としています。参加された保護者の中には、年に複数回の開催を要望する意見もございましたが、年1回が限度と考えております。

宮里部会長

経費は大分かかりますか。

事務局（池原）

今回は、乗船運賃、保険や食事代等を無料にしましたので、割合大きくかかっています。

事務局（宇崎課長）

今回、参加児童は42人となりましたが、希望者が多く正確な数字ではございませんが、応募は100名を超えております。要因としては、渡嘉敷島に渡りたい、フェリーに乗れる等があると考えられます。

加えて、参加費が無料ということもあり、応募者が増えた可能性がありますが、もし、複数回実施するとなれば、参加費を無料とするのは難しいと思います。

また、今回、民間業者に業務委託しておりますので、そういった費用も含めて考えますと、複数回実施というのは難しいのが実態でございます。

大崎委員（労）

海員組合の方でも、全国的に小学生や中学生を対象とした乗船体験等を実施したことがあり、例えば、三重県の四日市で実施した伊勢湾フェリーを使用した伊勢湾の周遊体験等は、非常に評判も良かったです。

沖縄支部でも、以前は、久米商船の協力を得て乗船学習をしたことがありますが、最近はなかなか実施できておりませんので、今後こういう機会があれば、組合にも声をかけてもらえば、協力してやっていきたいと思います。

宮里部会長

他に質問が無ければ、意見交換に移ります。

大崎委員（労）

今日、外航の旅客船で大きいのが入港していたので見に行つたんですが、泊港の入口が非常に分かりにくいというか、船員の方々も非常に危惧されているところがあるので、そこは船員の立場で考えていかないと、港の安全・安心というのは、守れていけないのかなと思います。

今日の港を見て思ったことを言わせてもらう形になるんですけど、これで、一応、管理組合の指導の下、港は造られていると思いますが、なかなか、その際に一船員の立場や泊港を利用されている離島航路の船員の方というのは、非常に謙虚な方が多いのか、余り大きい声で言わないようなところもあるんじゃないかなと思います。そのところは、広く耳を傾けていただいて、外航の旅客船を見られたときに、その後方にある泊港周辺も見ていただいたら、非常に狭いのが分かりますので、そういうことも含めて考えていただければ、港も良くなるのかなと思いますので、よろしくお願いしたいということです。

春田委員（公）

港はどこが管轄していますか。

大崎委員（労）

管理組合ですかね。

事務局（玉城調整官）

那覇港管理組合になります。

大崎委員（労）

管理者は、県知事ですから。

宮里部会長

泊港は、ほんとに狭いですよね。

大崎委員（労）

今日は、大きい旅客船が入っているから余計に大回りして、入ってこないといけなくなるので、非常に出入港の船舶が多いですから、急には止まらないですね。そのところは、すごく心配しています。

宮里部会長

波之上の若狭海岸の場所に大きい船が泊まっていましたね。

大崎委員（労）

今日は、大きいですね。いつものとは、ちょっと一回り大きいような感じになっていますね。

伊禮委員（使）

那覇港管理組合には、外航旅客船の着桟中で、夜間の入港時に雨が降っていた場合、全く視認できないと言っている。というのもその船がたくさんの電気を点灯したら、海側からは標識や浮標が見えない。

大崎委員（労）

海岸沿いにビルが建っている感じに見えますよね。ブイヤカメラを設置しているようですが、テレビカメラ見て、操船する船長いないですからね。やっぱり、自分で目視していくのが普通だと思う。そこは、利用者促進の協議会などで言わせてもらったことがあるんですけども、何かあってからでは遅いということは、考えないといけない。

伊禮委員（使）

安謝新港の赤灯台も撤去されたので、入港する目標がわかりにくい。

大崎委員（労）

沖縄の漁船は19トンで余り大きくなきから、本当に上から見て見えるのかなというのは思いますね。

伊禮委員（使）

多分、見えないんじゃないかな。

大崎委員（労）

入港の際には、泊港の方から定期航路のフェリーが出港してくることもあるので、そこは、ぜひ安全確保ということで、皆さんも港を見たときに、そういう目線で見ていただければありがたいなと思います。

宮里部会長

私も見たんですが、余りの大きさに何か建物が出来たのかと思いました。あれはどこの船籍なんですかね。

辻委員（労）

旅客船は、バハマ、カリブ海、ナッソー等に船籍を置いているのが多いですね。旅客船以外では、一般的に有名なのはパナマ等になります。

大崎委員（労）

また、大きい船ができるんで、沖縄県としたら、それも誘致しようということを考えていると思うので、相当、大きいのに来られたときに、泊港はどうなるのかなという感じはします。

事務局（玉城調整官）

旅客船協会も反対されているようですね。

大崎委員（労）

泊港の旅客船の船員の皆さんから反対する意見が出ると思います。やっぱり、港の入口ですからね。

辻委員（労）

内航船も安謝新港の方に回って入ったりしていますので、入出港による見合い関係で、泊港の方は非常に危険だということを考えていただきたいと思います。

宮里部会長

他に無いようでしたら事務局から連絡がありますのでお願いします。

事務局（池原）

次回、3月の船員部会は3月27日金曜日14時より、5階の海技試験室で開催いたします。

宮里部会長

それでは、本日の部会は以上で終了します。